




特集

日常生活・
ビジネスに必須!



絶対聞き取る!

数の英語



それなりに英語に自信がある人でも、意外と聞き取れないのが「数字」ではないでしょうか？英語を音読するときなどにも、数字のところは割と適当に読んでしまっている人が少なくないかもしれません。特にケタの大きい数字になると、発音や聞き取りの難易度がグンとアップします。

ニュースやビジネスでは「数字」が非常に重要な情報になります。人数・金額・大きさなど、たくさんの数字が使われます。特にビジネスでは、数字の聞き間違いが、とんでもないミスやトラブルを招いてしまうことすらあります。

今月号では、「数の英語」の攻略法を紹介します。ここで紹介しているトレーニングを行っていけば、自信をもって英語の数字の聞き取りができるようになるはずですよ。CNNのニュースに出てくる数字の聞き取りにも挑戦してみてください。

執筆：EE編集部



英語の数字の基本

まずは、英語の数字の基本をしっかりと押さえましょう。日本語と英語の数字の体系は大きく異なっています。そのため、個々の単語は聞き取れたとしても、それらを「日本語式の数字」に置き換えて捉えることは困難です。例えば、“ten million”という英語自体は聞き取れても、それが日本語の「1000万」であるということを瞬時に理解できないといったことが起こります。基本をしっかりと押さえた上で、聞き取りの練習を重ね、慣れていくしかありません。

2ケタの数字の読み方



99までは特に問題ないと思いますが、13 (thirteen)と30 (thirty)などの区別には少し注意が必要です。

13 (thirteen)	[θə:rti:n]	30 (thirty)	[θə:rti]
14 (fourteen)	[fɔ:rti:n]	40 (forty)	[fɔ:rti]
15 (fifteen)	[fifti:n]	50 (fifty)	[fifti]
16 (sixteen)	[siksɪ:n]	60 (sixty)	[siksɪ]

13と30はアクセントの位置で判別可能です。つまり、13は後ろの-teenにアクセントがあり、thirtyは前のthir-にアクセントがあります。しかし、これは絶対的なものではありません。例えば sixteen candles は、上記の基本では [siksɪ:n kændəlz] という発音になります。しかし、ここでは、それぞれの単語の第1アクセント (ti:n と ké:n) の位置が「近すぎる」ために、リズムがとりにくくなってしまい、結果として [siksɪ:n kændəlz] と発音されることもあるのです。このような現象が起こると、単に「アクセントの位置」だけで判別することが難しくなります。

sixteen candles [siksɪ:n kændəlz] → [siksɪ:n kændəlz]

3ケタの数字の読み方

3ケタの数字は、「百の位」で区切って、そのあと「下2ケタ」を続けて読みます。hundredの直後のandは省略して読まれることが多いです。また、one hundred や one hundred thousand などの one hundred は、a hundred と読まれることも多いです。

105
one hundred (and) five
または
a hundred (and) five

449
four hundred (and)
forty nine